

2020年入学 大学1年生対象調査 － 2020年入学 大学1年生の学生生活等について －

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の研究機関・就職みらい研究所（所長：増本 全）は、2020年入学の大学1年生に対して調査を実施しました。今回、調査結果の一部をまとめましたので、ご報告申し上げます。

< サマリー >

2020年大学入学者について、高校の卒業式があったのは9割以上であったが、大学の入学式は、7割以上が中止であった。大学の授業の「Web・オンライン」と「直接対面」とでは、「どちらでも構わない」が15.7%であるものの、「Web・オンライン」の方が「直接対面」よりもよいと思っている学生が上回っている。大学生活の満足度では、「満足・計」35.5%、「どちらともいえない」29.8%、「不満・計」34.7%と分散が見られる。その理由として、満足と思っている学生は、制限された授業の中でも勉学に励めたり、また友人もできたりしているなどが見られる。一方、不満と思っている学生は、対面授業が少なかったことで友人もできにくく、入学前に思い描いていた大学生活との違いで戸惑っている様子もうかがえる。

大学卒業後の進路を考えるときの気持ちについては、約2人に1人が「不安」と思っている。

将来のイメージでは、社会人になるころの社会の明るさについて、「どちらともいえない」が39.1%ではあるものの、「明るくない・計」37.2%で、「明るい・計」23.7%を上回っている。また、自分自身の将来については、「明るい」というよりも、「明るくない」や「どちらともいえない」と思っており、その理由として、自分自身のやりたいことがまだないや自信のなさ、コロナ禍による新卒採用への影響の懸念などが見受けられる。

< 内容 >

- 1) 高校の卒業式実施状況、大学の入学式実施状況について 3
- 2) 大学入学時から今までの大学生活で得たものや身についたと思うものについて 4
- 3) 大学入学以降、活動やコミュニケーションの力の入れ具合について 5
- 4) 大学の授業等における、Web・オンラインと直接対面について 6
- 5) 大学の授業における、Web・オンラインや直接対面がよいと思う理由について 7
- 6) 大学入学時から今までの大学生活への満足度および理由について 8
- 7) 大学卒業後の進路を考えるときの気持ちと理由について 9
- 8) 将来のイメージ__社会人になるころの社会の明るさと理由について 10
- 9) 将来のイメージ__自分自身の将来の明るさと理由について 11

調査概要

■2020年入学 大学1年生の大学生活等に関する調査

調査目的：大学1年生の大学生活や価値観、将来イメージ等を明らかにする

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国の2020年大学入学の大学1年生

調査期間：2021年3月18日～24日

調査回答数：1074人

《調査結果を見る際の注意点》

- ・ %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値と計算値が一致しない場合がある
- ・ データは無回答サンプルを除いて集計している

1) 高校の卒業式実施状況、大学の入学式実施状況について

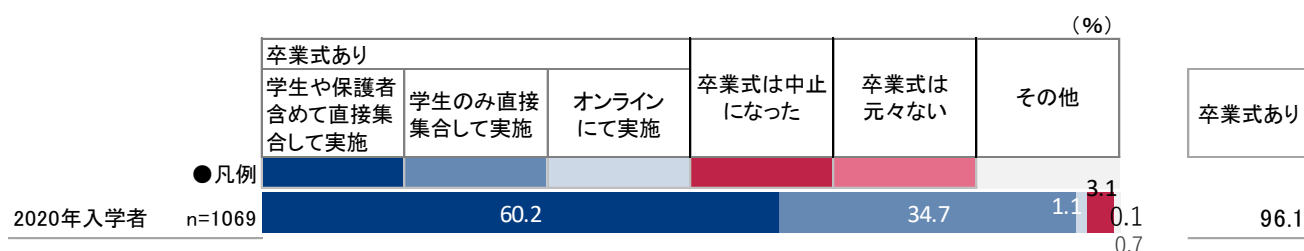
2020年入学者の入学式は、中止が7割を超える

2020年入学者が卒業した高校の卒業式は、96.1%が実施された様子である。

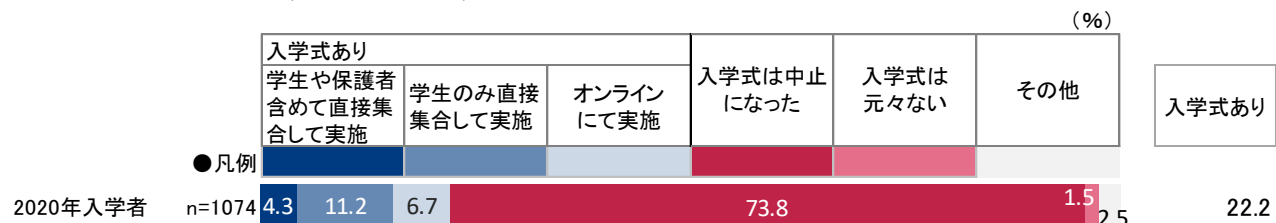
大学の入学式は、入学式があったのは約2割で、中止になったが7割を超えている。

参考として、高校の卒業式および大学の入学式ともに実施されたのは約2割であるのに対して、両方とも中止であったのは2.5%だった。

■高校の卒業式実施状況（高校卒業生(高校卒業認定は除く)回答者／単一回答）



■大学の入学式実施状況（全体／単一回答）



参考）高校の卒業式と大学の入学式との関係（高校卒業認定等以外の回答者）

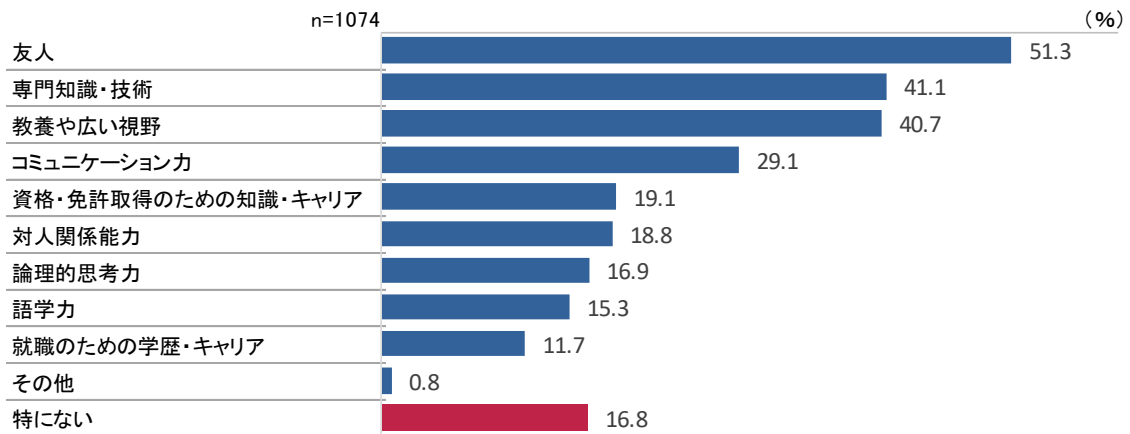
	n=1069 (%)
高校卒業式あり・大学入学式あり	21.7
高校卒業式あり・大学入学式中止	70.6
高校卒業式あり・大学入学式元々ない・他	3.7
高校卒業式中止・大学入学式あり	0.5
高校卒業式中止・大学入学式中止	2.5
上記以外	0.9

2) 大学入学時から今までの大学生活で得たものや身についたと思うものについて

大学入学後、大学生活で得られたものとして、2人に1人が「友人」と挙げる

2020年大学入学者に、大学入学時から今までの大学生活で得られたものや身についたと思うものについて聞いたところ、2人に1人が「友人」（51.3%）と回答。続いて「専門知識・技術」が「41.1%」、「教養や広い視野」が40.7%である。その中で、「特にない」との回答が16.8%である。

■大学入学時から今までの大学生活で得たものや身についたと思うものについて（全体／複数回答）

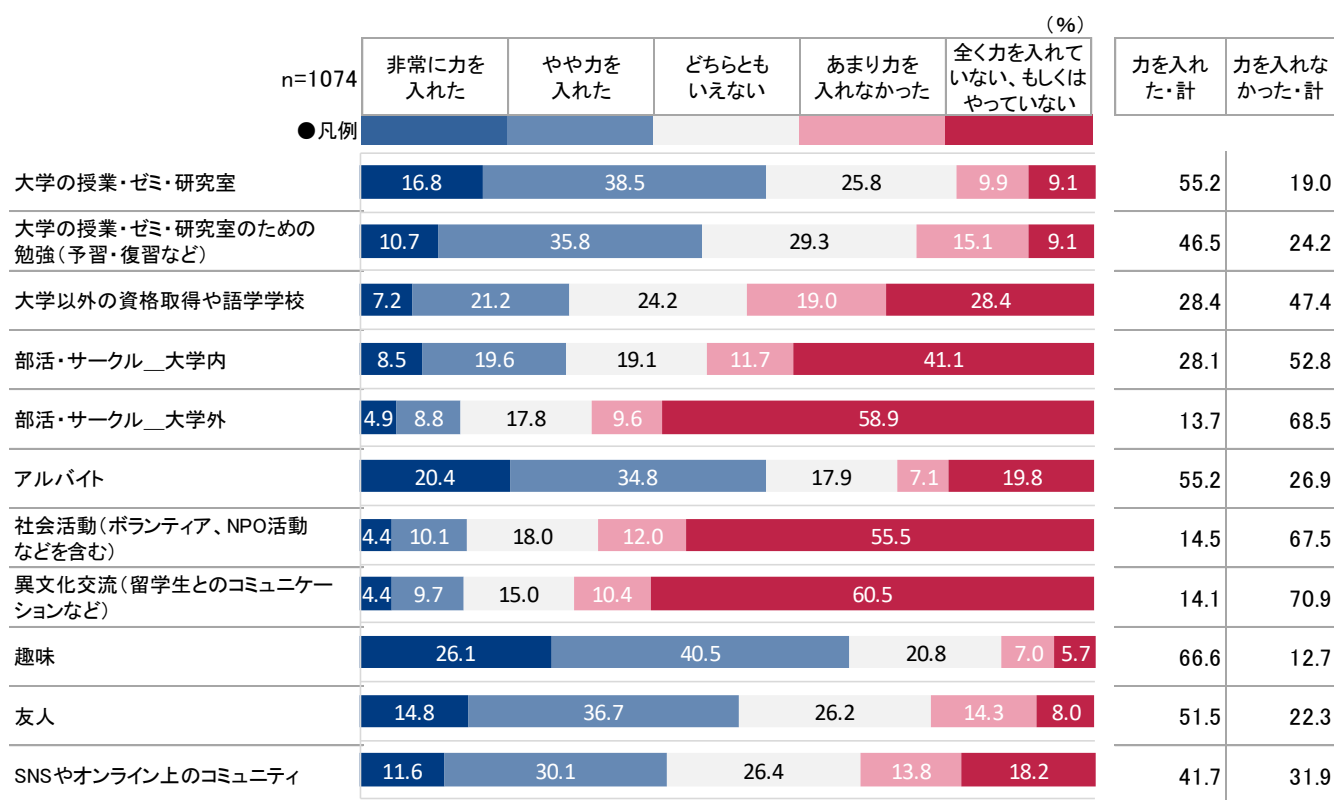


3) 大学入学以降、活動やコミュニケーションの力の入れ具合について

大学入学以降、大学の授業等に力を入れたのは55.2%

大学入学以降、活動やコミュニケーションに対しての力の入れ具合を聞いたところ、「力を入れた・計」が半数以上であったのは、「大学の授業・ゼミ・研究室」55.2%、「アルバイト」55.2%、「趣味」66.6%、「友人」51.5%であった。一方、「力を入れなかった・計」で半数以上であったのは、「部活・サークル__大学内」52.8%、「部活・サークル__大学外」68.5%、「社会活動」67.5%、「異文化交流」70.9%であった。

■大学入学以降、活動やコミュニケーションの力の入れ具合について（全体／各単一回答）



* 力を入れた・計 = 「非常に力を入れた」 + 「やや力を入れた」

* 力を入れなかった・計 = 「あまり力を入れなかった」 + 「全く力を入れていない、もしくはやっていない」

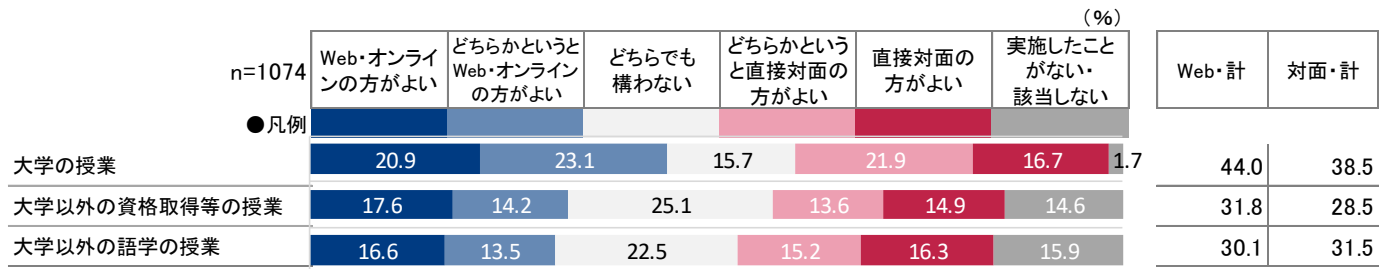
4) 大学の授業等における、Web・オンラインと直接対面について

大学の授業において、「直接対面の方がよい」よりも「Web・オンラインの方がよい」が上回る

大学の授業等において、Web・オンラインと直接対面とではどう思っているかについて聞いた。

大学の授業では、「どちらでも構わない」が15.7%であるものの、「Web・計」は44.0%、「対面・計」は38.5%と、Webの方が上回っている。その理由を見ると（P7参照）、「Web・オンラインの方がよい」では、コロナへの不安や、通学時間がかからない、オンデマンド授業の場合、復習しやすいなどが見られる。また、「直接対面がよい」では、友人や先生と直接会えないことや、対面の方がモチベーションが高い、オンライン授業だと課題が多いなどが見られる。

■大学の授業等における、Web・オンラインと直接対面について（全体／各単一回答）



* Web・計 = 「Web・オンラインの方がよい」 + 「どちらかというとWeb・オンラインの方がよい」
 * 対面・計 = 「どちらかというと直接対面の方がよい」 + 「直接対面の方がよい」

5) 大学の授業における、Web・オンラインや直接対面がよいと思う理由について

■大学の授業における、Web・オンラインや直接対面がよいと思う理由（自由回答）

<Web・オンラインの方がよい>

- オンラインの方が自分の受けたい時に授業が受けられ、オンデマンド授業の場合はわからなくなった時に復習もできるから。
- まだコロナはおさまってないので、不安でしかたない。
- 通学にかかる時間がなくて良いから。また、体調が悪い時、通学なら休まなければいけないところをオンラインなら部屋で休みながら受けられるから。
- 好きなタイミングで好きな速さでみることができ、聞き逃したところがあれば戻すことができる。
- 自分のペースで学習できるから。また、周囲の友人を気にせず学習できる。周りに妨害されることもない。
- 通学に時間をかけなくてよくなる。人間関係の煩わしさから解放され、学習に集中できる。
- 友達ができないのは嫌ですが、できれば家にいたい人間なので、大学に行くのがだるいなと思ったから。
- 時間にとらわれることなく何度も視聴できたり1人のためより集中して講義を受けることができるから。ただ、言語やゼミなど対面で行った方がよいと思う科目もあるため。
- 対面だと緊張して発言とか出来ないけどオンラインだと出来ることもある。
- 通学時間がかからない上、カメラを付けなくて良い授業がほとんどであったため、メイクや着替えをする必要がなく、朝遅くまで寝ていられた点が良かった。一方で、ほとんど外に出ないため精神的に辛かったり、教授にこちらの姿が見えていないため、他の授業の課題をしたりスマホをいじったりして集中できない時があった点が問題だと思った。

<どちらでも構わない>

- 専攻の授業は対面の方がいいが教養科目など大人数の授業はオンラインの方が楽。
- オンラインは家から出る必要がなく、あまり不便ではなかったが、直接会って友達を作り、一緒に授業を受けてみたいという思いもあるため。
- どちらにもそれぞれの良さがあるから。
- オンラインはオンラインの良さがありますし、対面にも対面の良さがあるのでどちらでも良いです。一番困るのは中途半端に対面とオンラインを混ぜられると、上京するべきか、実家にいるべきか悩むので、どちらかに振り切って欲しいです。
- オンラインだと自分の自由の時間をもてる、対面なら友達と会えると、どちらにも利点があるから。

<直接対面の方がよい>

- まだ一度も対面授業を受けたことがないため、オンライン授業と直接比較できないが、対面の方が周囲と直接コミュニケーションが取れて、勉強がはかどり、大学生活も楽しくなりそうのため。
- オンライン授業を一年経験したが、やはり友人や教授と直接会えない状況ではモチベーションが上がらないから。
- オンライン授業でも楽しちゃ楽ではあったが、何かしっくり来なかったこと。また対面授業が一部始まった時に楽しかったこと。
- オンラインだと、黒板が見にくかったり、録画画像を見るだけでその場で質問することができないから。自分一人で授業を受けていることが多く、友達との情報供給が直接できず、どうすればいいのか、これでいいのかわからなく不安だから。
- オンライン授業では、通学や準備の時間が省けて、集中して授業が受けられる点が良かった。でも、直接授業の方が理解度も高く、友達と話せる時間があったり、キャンパスライフを楽しめる気がするから。
- 質的な部分を考えると対面での授業の方が高く、より身につくと思うから。また、高い学費を払っているから。
- どこでも、いつでも受けられるというオンライン授業の良さを感じた一方で、対面の方がモチベーションが上がりやすく、より深い学びに繋がると考えた。
- 対面でなければ、教授やクラスメイトに伝えたいことがうまく伝わらなく、誤解が生じるため。
- オンライン授業だと、課題が多いから。
- オンライン授業を一年間やり、肩こり・目の疲れなどに悩まされたため。また、友達を作りづらく、サークルも出来なかったため、大学生活を楽しむことが出来なかったため。

* Web・オンラインの方がよい = 「Web・オンラインの方がよい」「どちらかというとWeb・オンラインの方がよい」との回答者

* 直接対面の方がよい = 「直接対面の方がよい」「どちらかというと直接対面の方がよい」との回答者

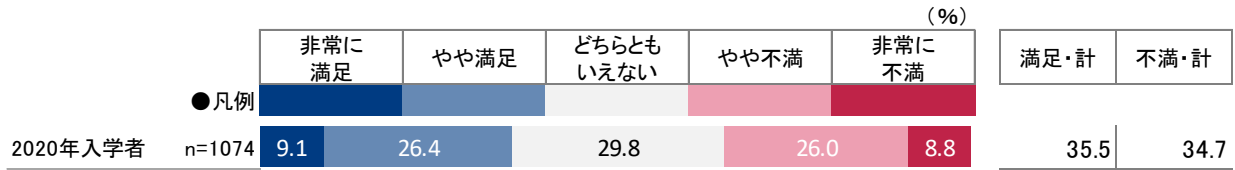
* どちらでも構わない = 「どちらでも構わない」との回答者

6) 大学入学時から今までの大学生活への満足度および理由について

大学生活について、満足、不満が拮抗

大学入学時から今までの大学生活について満足度を聞いたところ、「満足・計」が35.5%、「不満・計」が34.7%と両者が拮抗しているが、「どちらともいえない」が29.8%と、ほぼ3つに分かれている。それぞれの理由について見ると、満足の理由は、オンライン授業ながらも友人ができたり、充実した大学生活を送れているなどが見られる。一方、不満の理由は、コロナの影響で生活が制限されたり、オンライン授業で新たな出会いがなかったりなどが見られる。また、どちらともいえないとの理由は、オンライン授業で寂しいが大学生になれたことや単位は取れたが友人があまりできなかったなどが見られる。

■大学入学時から今までの大学生活への満足度について（全体／単一回答）



* 満足・計 = 「非常に満足」 + 「やや満足」

* 不満・計 = 「非常に不満」 + 「やや不満」

■大学入学時から今までの大学生活への満足度についての理由（自由回答）

<満足と思う理由（「非常に満足」「やや満足」との回答者）>

- コロナの影響で入学式が中止になったり、前期が全てオンライン授業になったりしたことは残念だが、後期からは週2～3回は対面での授業も行うことができ、授業内容にもある程度満足しているため。
- サークルにも入り友達もでき、勉学に励むことができているから。
- 楽しく学生生活を送れているから。
- 後期からは平日は大学に通えているし、勉強が充実している。先生たちや学校自体の支援体制がしっかりしている。
- 受験時、第一志望の大学ではなかったが、この大学だからこそ経験できたこともあると実感できるようになったから。
- 自分が学びたかった学問を深く学ぶことができているから。

<不満と思う理由（「非常に不満」「やや不満」との回答者）>

- 対面授業が少なく、友達ができなかったこと。また、1年初めの入学式やオリエンテーション、新歓などの大学の友達を作るために必要な行事がひとつも実行されなかったから。また、授業自体も対面の方が学びが深まると思ったから。
- 授業やイベントは全てオンラインで、大学生活といえる生活を送ることができなかったから。
- コロナの為、オンライン授業がほとんどで、学校に行くことがなく、新たな出会いやサークルに入れずにいるから。
- 授業の大部分がオンラインで、実習や実験をあまり受けることができなかったため。
- コロナの影響も大きいと思うが、大学生活の中で制限されていることが多く、大学入学前に思い描いていたような大学生活を送ることができていないから。クラス別で授業が行われているのだが、担当の先生やクラスによってかなり差があり、不公平を感じる。
- コロナ禍でサークルが活動できなかったから。

<どちらともいえないと思う理由（「どちらともいえない」との回答者）>

- コロナがあり、しょうがないということは分かっているが、期待していたキャンパスライフが全く過ごせていないことに残念に思っている。
- オンライン授業で寂しかったが、大学生になれたことが良かった。
- 無事単位は取れたが、友達があまりできなかった。
- オンラインばかりで行事やサークルもできないしグループワークも出来ず、ちゃんと学べているのが心配だからです。コミュニケーション能力を高めたいと思っていたので、それが達成できていないと感じています。実習はオンラインではなく直接学校で行っていたのでそれは良いと思いました。

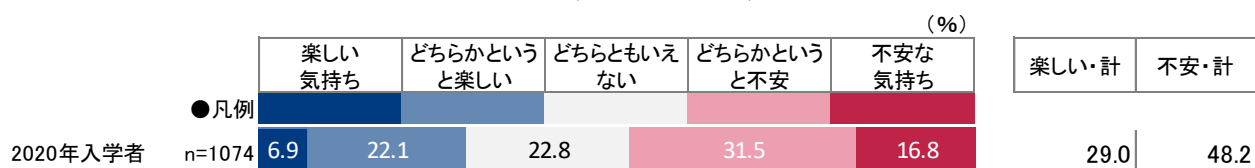
7) 大学卒業後の進路を考えるときの気持ちと理由について

大学卒業後の進路を考えるときの気持ちは、約2人に1人は「不安」

2020年入学の大学生が、卒業後の進路を考えるときの気持ちについて、「楽しい」（楽しい・計）と思うのは29.0%で、「不安」（不安・計）と思うのは48.2%と、「不安」が「楽しい」を大きく上回っている。

楽しいと思う理由は、「新しいことをたくさん経験できそうだから」が63.7%で、「たくさんの人と出合いが待っていそうだから」が50.5%と続く。一方、不安と思う理由は、「仕事に就くことができるかどうか（就職できるか）心配だから」が80.3%と、他の理由よりも突出している。

■大学卒業後の進路を考えるときの気持ちについて（全体／単一回答）

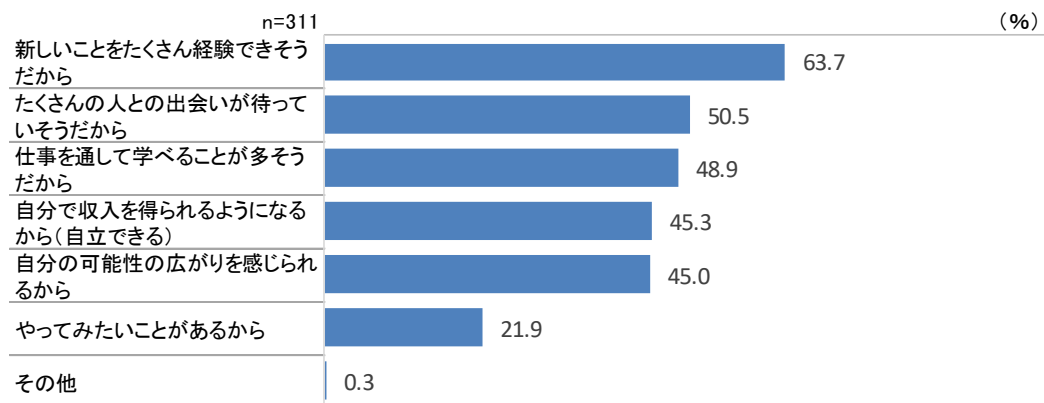


* 楽しい・計 = 「楽しい気持ち」 + 「どちらかという楽しい」

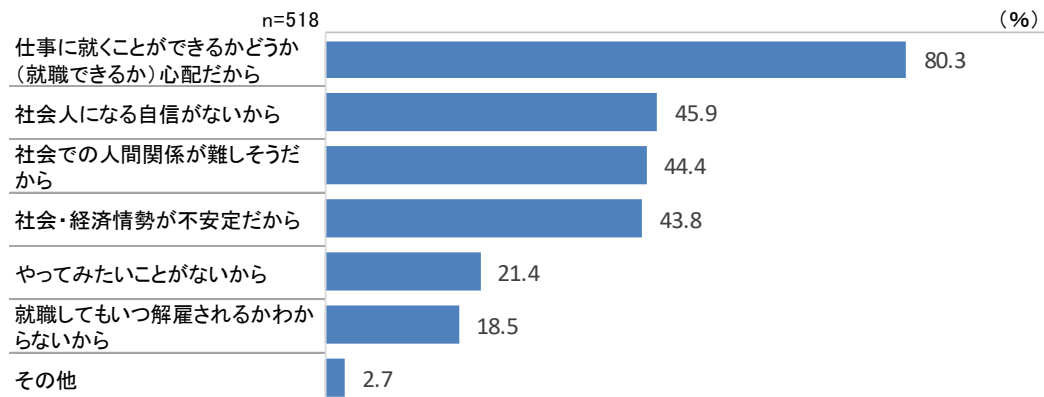
* 不安・計 = 「不安な気持ち」 + 「どちらかという不安」

■大学卒業後の進路を考えるときの気持ちの理由について

□楽しいと思う理由（「楽しい気持ち」「どちらかという楽しい」との回答者／複数回答）



□不安と思う理由（「不安な気持ち」「どちらかという不安」との回答者／複数回答）

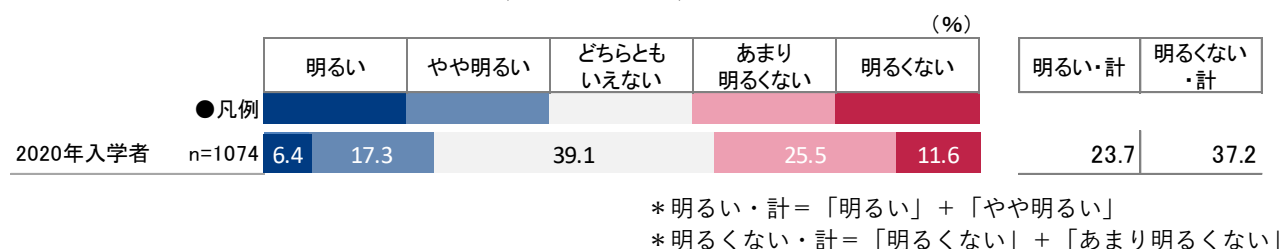


8) 将来のイメージ_社会人になるころの社会の明るさと理由について

社会人になるころの社会の明るさは、「どちらともいえない」が約4割

2020年大学入学者の、社会人になるころの社会の明るさについて聞いたところ、「どちらともいえない」が39.1%であるものの、「明るい・計」は23.7%、「明るくない・計」は37.2%と、「明るくない・計」が上回っている。また、それぞれそう思う理由について聞いたところ、明るいと思う理由について、今よりも多様性が認められ、新しい働き方や技術の発展、コロナ禍が落ち着き景気が回復しているのではないかなどが見られる。一方、明るくないと思う理由は、コロナ禍が収束していない状況で、景気も回復が見込めないや、少子高齢化で税負担が大きくなるからなどが見られる。

■社会人になるころの社会の明るさについて（全体／単一回答）



■社会人になるころの社会の明るさについて思う理由（自由回答）

<明るいと思う理由（「明るい」「やや明るい」との回答者）>

- 今現在で多様性が認められつつあるため、新しい生き方、働き方が増えて、活気が溢れた社会になると考えたから。
- どんどん技術が発展していった新しいものが増えると思うから。
- AIが発達しているから。
- 経済的に見ると現在よりも景気が良くなっているのではないかと思うため。

- 今までできたことがコロナによりできなくなる一方、今までなかったシステムができていると思うから。
- さすがにコロナ禍が落ち着いて、新たなビジネスによって雇用が生まれていると思うから。
- 現在コロナのワクチンも普及されてきていて、社会人になる頃には完全に終息して、景気が回復してきていると思うから。

<明るくないと思う理由（「明るくない」「あまり明るくない」との回答者）>

- 今の社会情勢が数年で大きく良い方向に変化しているとは考えにくいから。
- コロナが完全に収束しているかわからないし、収束していたとしても元の状態に戻るまでには時間がかかりそうだから。また、そもそも日本の社会がもともと良いものだったのかもよくわからない。

- ここまで経済が下降している中で、どうして「明るい」と言えようか、いや言えない。
- 現在の状況から回復が見込めるような明るいニュースがないから。
- 少子高齢化で労働者世代の税負担が大きくなるから。

<どちらともいえないと思う理由（「どちらともいえない」との回答者）>

- 近年、社会情勢の変動は著しく、3年後大学卒業時または5年後大学院修士課程修了時にどうなっているかは予想ができない。
- 未来は予測不可能であるから。
- 新型コロナウイルス発生のように、何が起るかわからないから。

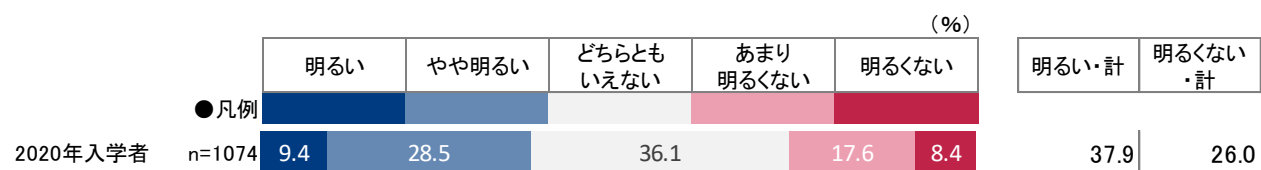
- 若者が少なくなり、大変になると感じたから。しかしまだ分からない部分もありどちらとも言えないを選んだ。
- コロナのように安定していた生活が突然無くなる可能性があるから。

9) 将来のイメージ__自分自身の将来の明るさと理由について

自分自身の将来の明るさは、「明るい・計」が4割近く

2020年大学入学者に、自分自身の将来の明るさについて聞いたところ、「明るい・計」は37.9%、「明るくない・計」は26.0%で、「どちらともいえない」が36.1%と最も高い。それぞれそう思う理由を聞いたところ、明るいと思う理由は、自分のやりたいことに取り組んでいるや、明るくなるように努力するなどが見られる。一方、明るくないと思う理由は、新型コロナウイルスの影響で就職先の減少や自分自身の自信のなさなどが見られる。また、どちらともいえないと思う理由は、自分の将来や自分のやりたいことがまだ見つかっていないなどが見られる。

■自分自身の将来の明るさについて（全体／単一回答）



* 明るい・計 = 「明るい」 + 「やや明るい」

* 明るくない・計 = 「明るくない」 + 「あまり明るくない」

■自分自身の将来の明るさについて思う理由（自由回答）

< 明るいと思う理由（「明るい」「やや明るい」との回答者） >

- 専門分野を学んで、高度な知識、技術を生かせるようになっていと思うから。
- 自分のやりたいことに向けて取り組んでいるから。
- 自分がやりたい仕事をして、好きな人とも一緒にいると思うから。
- 明るくなるように努力するから。
- 今のうちから色々な活動（アルバイトや学生団体）を行っているから。
- どこかで活躍したい場所を見つけられれば活躍できると考えているため。
- 今着実に勉強すればなりたい職業に就けると思うから。

< 明るくないと思う理由（「明るくない」「あまり明るくない」との回答者） >

- 新型コロナウイルスの影響で新卒採用が減っており、それが私が卒業する頃も続いていると考えられるため。
- 就職活動の際にコロナ禍の影響が残っていそうだから。最初の就職で失敗したら、転職しようにもスキルアップが困難なように思われるから。
- 自分に自信がなく、期待できないから。
- このような状況下で自分の将来のことを考えると不安に感じるから。
- 自分のキャリアについてあまり考えられていないから。
- 少子化が進み税金や保険料の負担が大きくなると思うから。

< どちらともいえないと思う理由（「どちらともいえない」との回答者） >

- まだ明確な将来が掴めていないから。
- 今後の頑張りに左右されるから。
- 自分のやりたいことが不透明だから。
- 今私が知り得ている情報だけでは何ともいえないから。
- 社会人になれたとしても、そこからうまく適応できるかどうか分からないため。
- 自分次第で変わると思うから。
- 具体的な目標などが定まっていないから。